

THE **A** MUSEUM

Vol.1-1 第1号 2006.9.15

Saitama Prefectural Museum of History and Folklore



博物館にてんとうむしがやってきた！！

スバル360は、卵形をしたちょっとユーモラスなデザインや、軽自動車の規格ながら大人4人がきちんと乗れるパッケージングなど独創的な車づくりで、今日に語りつがれる名車の一台です。昭和33年、車を個人で所有することが珍しかった時代に自家用自動車として発売され、日本のモータリゼーション発展の端緒となりました。

博物館では、今年度行われる郷土学習室の展示改装で昭和30年代の原っぱを再現し、その一角に展示する計画です。

目次

ミュージアムグッズフェア	2
～グッズでめぐる全国の博物館～	
いざ出発！「博物館裏方探検隊」	6
学芸員の仕事を一般公開	6
イベント・インフォメーション	7
常設展示紹介	8

ミュージアムグッズフェア～グッズでめぐる全国の博物館～

平成 18 年 7 月 22 日（土）から 8 月 6 日（日）まで、当館のエントランスホールで、「ミュージアムグッズフェア～グッズでめぐる全国の博物館～」が開催されました。全国的にも初めての試みであるこの展示会と、そこに出品されたミュージアムグッズについて報告します。

博物館は、展示という行為を通じて、お客さまに実物資料との出会いと感動を提供する場所です。しかし、博物館の資料は、残念ながらお客さまにお持ち帰りいただくわけにはいきません。そこで、お客さまが博物館における経験を心に刻み、実物資料との出会いと感動をより長く身近にとどめていただくとともに、家族や友人にお持ち帰りいただくためのお手伝いをするのがミュージアムグッズです。

したがって、ミュージアムグッズは、それぞれの博物館が所蔵する代表的な実物資料などをもとにデザインされ、それに、実用性と教育性が加味されて作られています。

こうしたミュージアムグッズは、それぞれの博物館が持つ固有のコンセプトを体現しており、博物館の魅力が凝縮されています。モデルとなった資料などに対する理解を深めるだけでなく、郷土の歴史や文化をより身近にお楽しみいただくアイテムとしてもご愛用いただけます。また、近年では、博物館の情報発信や収益増の有効なアイテムとしても注目が集まっています。

今回のミュージアムグッズフェアでは、全国各地の博物館の協力を得て、こうした特色あるミュージアムグッズを一堂に集め、展示及び即売

することにより、お客さまにミュージアムグッズが持っている魅力をアピールするとともに、パンフレットなどを取り寄せ配布することで、情報発信元である博物館も紹介するようにしました。

協力いただいた博物館等は 48 施設、出品されたグッズ数は、当館のものも含めると 234 点にのぼります。北は北海道から南は九州まで、文字どおり『グッズでめぐる全国の博物館』を目指しました。

出品をお願いしたのは、それぞれの地域を代表する公立館が中心ですが、事前調査を進める中で、特徴的なグッズを扱っている日本玩具博物館や神戸らんぶミュージアムなどテーマ型の博物館にも協力いただくことになり、バラエティーに富んだグッズをそろえることができました。

それでは、今回の展示会で人気を集めたグッズにはどのようなものがあったのでしょうか。最も人気が高かったのは、福岡市博物館の「金印スタンプ（710 円）」（写真 ）です。『漢委奴國王』の 5 文字が刻まれた金印は、皆さんよくご存じの一品です。価格も手頃であることから、人気になることが予測できたので数量を多く用意し、さらに追加もしたのですが、会期後半には品切れとなってしまいました。



展示会場風景 1



展示会場風景 2



金印スタンプ
 双魚佩しおり
 絵はがき
 (源氏物語-野分-)
 みみずく人形
 (大・小)
 一筆箋(リキシャ)
 魚のメモ
 とんぼ文ルーペ
 ナマズマグネット
 クリアホルダー
 杏葉ストラップ・
 キーホルダー
 イヌイットヨーヨー
 ペーパークラフト
 (稲荷山鉄剣)
 ペーゴマセット

2番目に人気のグッズは、福島県文化財センター白河館（まほろん）の「双魚佩しおり（315円）」（写真 ）です。福島県内の古墳から出土した金銅製品を模したもので、金属プレートの素材を生かしたデザインが秀逸です。

3番目は、神戸らんぷミュージアムの「明治・大正・昭和のマッチラベル（170円）」です。A4版のシートにマッチラベルの図柄が20点余り印刷されており、6種類あります。入口に入ったお客さまが、一直線にケースの前に来て、これ全部くださいというような買い方をされたのが印象に残ります。レトロな味わいと、マニアックな魅力があります。

以上がベスト3ですが、しおりは、新聞記事に写真入りで紹介され、それ以降評判が高まったグッズです。マッチラベルは、どちらかといえばスタッフの間では評価の芳しいものではありませんでした。予想外の結果といえます。

次に、ミュージアムグッズの定番商品を見ていきましょう。絵はがきは、今回多くの博物館から出品されました。その中で人気が高かったのは、京都国立博物館の「源氏物語 - 野分 - （6枚セット500円）」（写真 ）です。有名な題材を扱い華やかで品がよく、値ごろ感もあります。

一筆箋は、女性に人気のあるグッズです。今回は福岡アジア美術館の「リキシャ（462円）」（写真 ）が鮮やかな色づかいと、エキゾチックな雰囲気気で好評でした。

埼玉県立川の博物館の「魚のメモ（350円）」（写真 ）は、表紙の魚のスケッチが男性に好まれましたが、メモ帳そのものの人気は全体的に低調でした。

クリアホルダー・ファイルも、多くの博物館でオリジナルなものがつくられています。品切れとなったのは、千葉市美術館の「ミニクリアファイル（210円）」でハガキ大のA6サイズが目新しかったのでしょうか。またさいたま市漫画会館のレトロな「クリアホルダー（250円）」（写真 ）も人気でした。

キーホルダーや、近年では携帯ストラップも定番のグッズです。群馬県立歴史博物館の「杏葉ストラップ（350円）・キーホルダー（250円）」（写

真 ）は、精巧につくられた杏葉のアクセサリーがオリジナル感たっぷりです。

その他にも地域色あふれるグッズが数多く出品されました。東京都江戸東京博物館の「みみずく人形大（1,600円）・小（450円）」（写真 ）は、子どもを災いから守るといふ版画の赤絵みみずくを人形にしたもので、人形職人の手づくりというところがポイントです。

石川県立美術館の「とんぼ文ルーペ（2,500円）」（写真 ）は、本体はプラスチックですが、蒔絵文様に漆塗りで仕上げられ、扱いは容易でありながら質感も十分です。

滋賀県立琵琶湖博物館は、「ナマズマグネット（315円）」（写真 ）をはじめとして、ぬいぐるみやしおりなどナマズのキャラクターグッズをそろえて出品してきました。

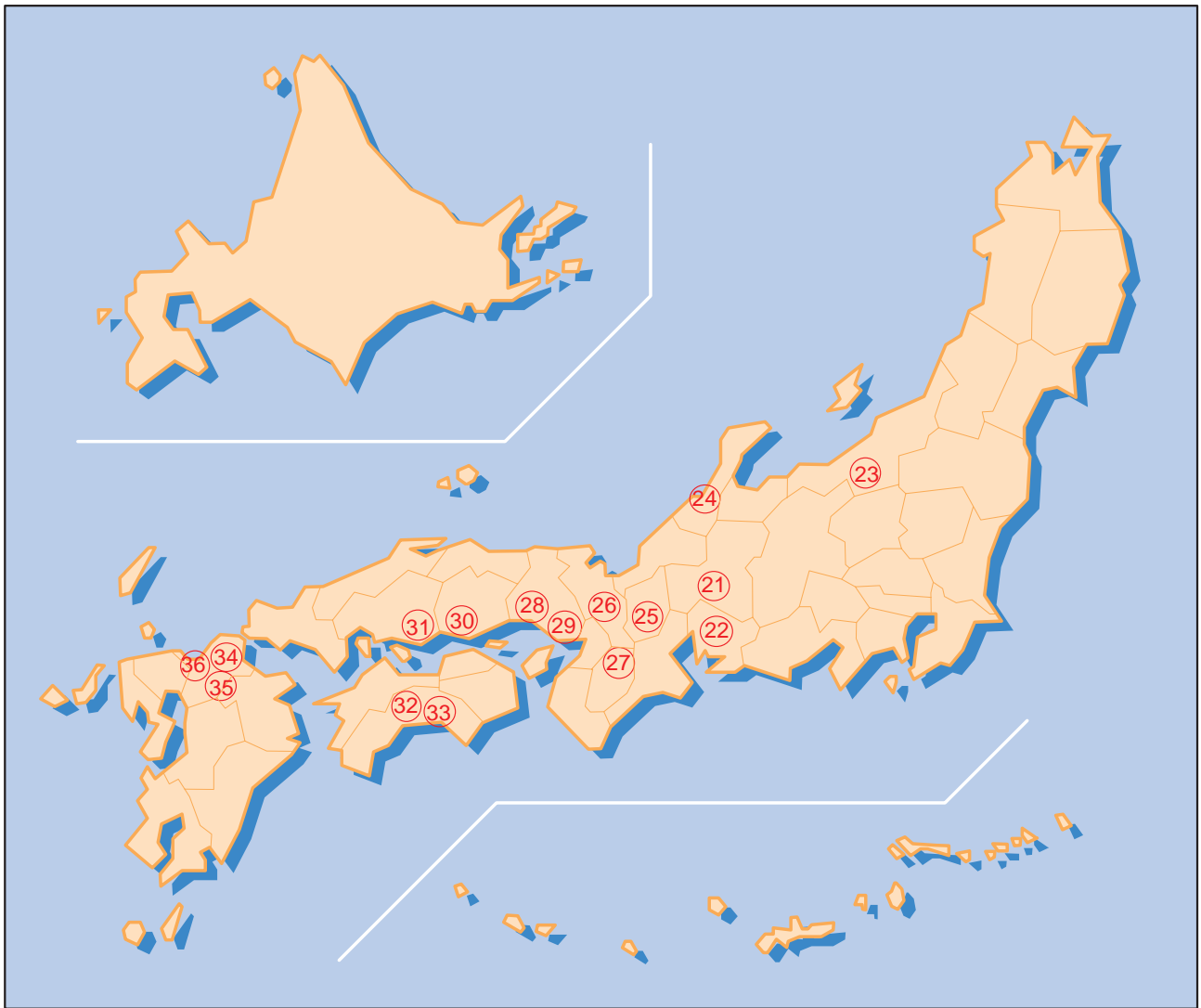
北海道立北方民族博物館の「イヌイトヨーヨー（600円）」（写真 ）は、イヌイトの玩具を模したもので、皮革製品であることがその雰囲気感を伝えます。そしてこれどうやって遊ぶのだろうと、思わず見入ってしまいます。

埼玉県を代表するグッズとしては、さきたま史跡の博物館の「ペーパークラフト稲荷山鉄剣（250円）」（写真 ）があります。体験学習のための教材として開発されたもので、子ども向けグッズの代表格といえます。

「ベゴマセット」（写真 ）は、当館が試作品として出品しました。今回ミュージアムグッズフェアを開催したのには、もうひとつ大きな目的があります。それは、新しいオリジナルグッズを開発するための参考にさせていただくことです。

全国各地のさまざまなミュージアムグッズを紹介することで、人気の高いグッズはどのようなものか、価格帯はどれぐらいが適当か、お客さまの反応を確かめる、ご意見を伺う、いろいろなことが分かりました。地場産業を生かした「ベゴマセット」は、おおむね好評でした。こうした情報をもとに、さらにお客さまに喜んでいただけるオリジナルグッズの開発に取り組んでいきたいと考えています。

（企画、学習支援担当 主席学芸主幹 沼野 勉、企画担当 学芸主幹 鈴木秀雄）



ミュージアムグッズ出品博物館等一覧

地区	名称	地区	名称	地区	名称
1 北海道	北海道立近代美術館	17 関東	千葉県立房総のむら	33 四国	高知県立美術館
2	北海道立北方民族博物館	18	東京都江戸東京博物館	34 九州	福岡市博物館
3 東北	御所野縄文博物館	19	府中市郷土の森博物館	35	福岡市美術館
4	秋田県立博物館	20	神奈川県立歴史博物館	36	福岡アジア美術館
5	仙台市博物館	21 中部	美濃加茂市民ミュージアム	- 埼玉	さきたま史跡の博物館
6	致道博物館	22	徳川美術館	-	埼玉県立川の博物館
7	福島県文化財センター白河館	23 北陸	新潟県立歴史博物館	-	埼玉県立近代美術館
8 関東	茨城県自然博物館	24	石川県立美術館	-	さいたま市立漫画会館
9	古河歴史博物館	25 近畿	滋賀県立琵琶湖博物館	-	川崎市立博物館
10	那須塩原市那須野が原博物館	26	京都国立博物館	-	川崎市立美術館
11	群馬県立自然史博物館	27	司馬遼太郎記念館	-	入間市博物館
12	群馬県立歴史博物館	28	神戸らんぷミュージアム	-	富士見市立難波田城資料館
13	富岡市立歴史美術館	29	日本玩具博物館	-	ジョン・レノン・ミュージアム
14	国立歴史民俗博物館	30 中国	岡山県立美術館	-	跡見学園女子大学花蹊記念資料館
15	千葉県立中央博物館	31	広島県立歴史博物館	-	団法人山崎美術館
16	千葉市美術館	32 四国	高知県立坂本龍馬記念館	-	財団法人河鍋暁斎記念美術館

当館では4月のリニューアルオープン以来「博物館は変わった」ということをご理解いただくため、従来にないさまざまな事業に取り組んでいます。ここでは、日頃ご好評をいただいている2つの新しい試みを紹介します。

いざ出発！「博物館裏方探検隊」

この企画は、日ごろ目にする事が出来ない、展示室以外の博物館施設を入館者の方に見ていただき、資料の保存環境・施設の管理状況などが、どのようにされているかを御案内するものです。毎週土曜日の午前か午後の1回、所要時間は40分間ほどです。

コースは、1階の展示室入口に集合していただき、地下階の通路を通り管理棟に移動し、3階から各階の施設や部屋を見学してもらいながら説明を行います。

収蔵庫など管理上から内部の見学ができない施設については、写真パネルなどを用い、内部の構造や管理方法などを、小学生の参加者でも分かるようにやさしく解説しています。

参加者の反応では、上下に扉が開く大きなエレベーターや、収蔵庫の扉の厚さに驚きの声が上がります。また、博物館には、学芸や管理の職員の他に、清掃・警備・ボランティア、中央監視など、陰で支えるたくさんの人たちがいること。展示室や収蔵庫などの保存環境を維持するため、様々な

施設と工夫が必要であることなどを説明すると、大きな感動をいただいています。

館長室に館長が在室であれば、突然の館長挨拶があったりと、毎回何か違う「探検隊」です。

日ごろ博物館の展示を御覧いただいているお客様に、普段見ることのできない博物館の裏方の部分を見ていただき、いろいろな角度から当館に興味をもっていただければと思います。

(資料調査担当 学芸主幹 兼子 順)



収蔵庫前での説明

学芸員の仕事を一般公開！

学芸員の仕事公開は、毎月第3水曜日(8月は毎週)に実施しています。普段は目に触れることの少ないバックヤードでの学芸員の仕事を、あえてお客さまの前で公開することにより、博物館の活動や学芸員の仕事に対する理解をより一層深めていただくものです。

公開する実技の中身は、個々の学芸員が日ごろ担当する業務にかかわるものや、専門的な知識、技術を要するものなどさまざまで、「資料の撮影」や「ポスターのデザイン」「映像資料の編集」「石器の整理」「甲冑の梱包」「古文書の取り扱い」といったテーマで実施されます。

見学されたお客さまからは、「こんなことまで学芸員がやっているとは思わなかった」とか、

「ひとつの展示ができるまでの準備の様子がよくわかった」などの感想がよせられ、博物館や学芸員をより身近に感じるきっかけにいただけたようです。

(学習支援担当 学芸主幹 二階堂 実)



展示替えの実技公開



イベントインフォメーション

06年10～11月

事業名	主な内容	開催日時	会場	対象	費用	問い合わせ先
特別展 「由来 伝来 名刀の一千年」	本展示では、刀の歴史的側面にスポットをあて、様々な角度から刀の魅力を紹介します。	10月7日(土) ～11月19日(日) 9:00～16:30 (入館は16:00まで)	県立歴史と民俗の博物館	一般	観覧料 一般:600円 高校・大学生 300円 (小・中学生、 65歳以上、 障害者手帳 等をお持ち の方は無料)	県立歴史と民俗の博物館 展示担当 048-645-8171
特別展展示解説	担当学芸員による、特別展「由来 伝来 名刀の一千年」の展示解説	10月14日(土)・ 21日(土)・ 11月11日(土)・ 19日(日) 14:00～				
講演会 「戦国武将と 名刀」	小笠原信夫氏(東京国立博物館名誉館員)による特別展開連講演会	10月22日(日) 13:30～15:00				
わくわく フェスタ	県立の博物館など6館が大集合!各館の特色を生かしたプログラムを体験できる楽しいイベントが盛りだくさんです。	10月14日(土) ～15日(日) 10:00～16:00	さいたま スーパー アリーナ	小・中学生 他一般 (当日受付)	無料	県立歴史と民俗の博物館 学習支援担当 048-645-8171
特別展開連 子ども向け 体験学習	ペーパークラフトで国宝・景光(かげみつ)の短刀をつくろう	10月28日(土) 10:00～12:00 13:30～15:30	県立歴史と民俗の博物館	小・中学生 ・その保護者 各30人 (当日受付 先着順)	100円	県立歴史と民俗の博物館 展示担当 048-645-8171
民俗芸能講演	郷土埼玉に伝承されている里神楽(さとかぐら)や木遣歌(きやりうた)を、各保存団体が上演。	11月5日(日) 13:00～16:00	彩の国 さいたま 芸術劇場 大ホール	一般 776人 (当日受付 先着順)	無料	県立歴史と民俗の博物館 民俗文化担当 048-645-8171
県民の日 記念事業	衣服の歴史ファッションショーをはじめ、親子で楽しめる様々なイベントを開催します。	11月14日(火) 10:00～15:30	県立歴史と民俗の博物館	小・中学生他 一般	参加費無料。 特別展の観覧には観覧料が必要。	県立歴史と民俗の博物館 学習支援担当 048-645-8171
職人入門講座 「江戸組紐」 (初級)	組紐職人から直接学びながら制作します。	10月19日(木) ～20日(金) (全2回) 9:30～15:30	県立歴史と民俗の博物館	一般(20人) 2日間出席 可能な方 往復ハガキに 住所・氏名・ 電話番号(FAX 番号)を明記 し申込 10/5 必着	3,500円	県立歴史と民俗の博物館 民俗文化担当 048-645-8171 〒330-0803 大宮区高鼻町 4-219
職人入門講座 「江戸組紐」 (中級)	組紐職人から直接学びながら制作します。	11月16日(木) ～17日(金) (全2回) 9:30～15:30	県立歴史と民俗の博物館	一般(20人) 2日間出席 可能な方 往復ハガキに 住所・氏名・ 電話番号(FAX 番号)を明記 し申込 11/2 必着	3,500円	

THE A MUSEUM

常設展示紹介 寝ている間にご飯が炊ける！ - 夢の発明・電気自動炊飯器 -

常設展示室 9「高度経済成長と埼玉」のコーナーに、電気自動炊飯器が展示されています。お客様（特に女性の）から「まあ、懐かしい！」とお声のかかるこの「電気釜」、昭和34年に松下電器産業から4,500円で発売されたSR-18型とよばれるもので、購入されたのは昭和40年代です。

国産第1号の電気自動炊飯器は、遡ること4年前、昭和30年に東芝から発売されました。この開発秘話については、NHKの「プロジェクトX」でも放映されたのでご存知の方も多いかもかもしれません。それ以前にも「電気で炊飯する」こと自体は可能で、製品もありました。しかし、「炊きあがったら自動でスイッチが切れる」技術の開発が困難を極めたのです。

朝、まだ家族が起きる前、暗いうちに起床してご飯を炊くのが主婦（女性）の仕事でした。つききりで火加減を見ながら、丁度よい頃合いで火を消して、蒸らす。毎日の、当然の仕事でした。「寝ている間にご飯が炊ける」電気自動炊飯器の開発は、文字どおり、夢のような話でした。



販売価格は3,200円。これは当時の大卒初任給の3分の1にあたります。高額なものであったにもかかわらず、炊飯器は爆発的に売れました。いかにこの製品が画期的、かつ切望されていたものかがわかります。

当時は高度経済成長期をむかえ、女性の社会進出も本格的になる頃でした。それを後押ししてくれた多くの家庭電化製品の中でも代表的なものがこの「電気自動炊飯器」だったのです。

（展示担当 学芸員 井上かおり）



博物館にやってきたのは、ガラス繊維強化樹脂製の屋根に代わりキャンパスを付けて、屋根を開閉できるようにしたコンバーチブルタイプのK111P型で、昭和34年に追加されたモデルです。このように車種バリエーションを増やし、エンジンやシャシーなどの改良を受けながら、スバル360は昭和45年までに392,016台が生産されました。



埼玉県立歴史と民俗の博物館（編集発行）

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4丁目219番地

TEL. 048-645-0890（管理）

048-645-8171（学芸）

FAX. 048-640-1964

<http://www.saitama-rekimin.spec.ed.jp/>



埼玉県立歴史と民俗の博物館だより

Vol.1-1（通巻）第1号

2006年9月15日発行